

OPEN SOUND DATA 第三弾 キハ40 玄人 v2.3

操作説明書

2019/04/11

1. はじめに

本書は MB3110A 氏と栃木総合車両所氏の協力により作成され、OPEN SOUND DATAとして公開するに至ったキハ40 向け DCC サウンドデータです。玄人向けのサウンドデータの説明書となります。一般向けは、別途、別バージョンにて配布しておりますので、ご確認下さい。



2. 対応機種

ESU 社 LokSound V4, V4 micro, 5, 5 micro

※LokSound Select には使用できません。

3. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	機関始動	※後述する操作手順有り
F2	警笛	
F3	AUX1 [1]: 室内灯用出力	
F4	ATS・ATS 確認	※後述する操作手順有り
F5	非常制動	※後述する操作手順有り
F6	Heavy Load	機関機能試験/スロットル保ち
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F10	フランジ	
F11	Shift (停車時)	※後述する操作手順有り
F12	開扉→乗降促進→閉扉	
F13	停車時ブレーキ試験	
F14	Shift (走行時)	変直切換可能速度域で ON→OFF することにより変速段→直結段へ切換
F15	手笛/乗降促進(ワンマン)	
F16	開扉→ベル 1 →閉扉	
F17	開扉→ベル 2 →閉扉	
F18	強制閉扉 (トリガー)	
F19	機関予熱器	

F9 : 未使用

4. 詳細な操作方法

4.1. F1 機関始動

【F1=ON】でノーマルスタート

* F11+F1 でコールドスタート(機関予熱後の始動)

コールドスタート手順

***先に機関予熱器を使う場合は【F19=ON】にして機関予熱器を起動させて下さい。約 40 秒起動した後に自動停止します。(待ちきれない場合は OFF して強制停止することもできます)**

1. 【F11=ON】にして下さい。
2. 次に【F1=ON→OFF】で ATS 投入音が鳴動します。そのまま【F1=ON→OFF】を繰り返して機関予熱操作を 3 回行います。
 - ① 【F1=ON→(予熱リレー音)→10 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】
 - ② 【F1=ON→(予熱リレー音)→10 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】
 - ③ 【F1=ON→(予熱リレー音)→10 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】

*****実車での予熱リレー操作間隔は一回約 10 秒を 3 回です*****

3. 【F6=ON】にして下さい。
(セルスタート後も始動する気配無しの再現には F6=OFF のままで結構です→セルスタート約 25 秒)
4. 最後にもう一度【F1=ON】でセルスタート開始し、始動成功後はエンジンがアイドル状態となります。*セルスタート 1 回目は始動失敗します。もう一度予熱操作①からやり直して下さい。始動 2 回目
で成功します。
5. 【F6=ON】を保持するとそのまま機関機能試験(空ぶかし)に入り、【F6=OFF】で終了します。

*機関停止【F11=OFF】→【F1=OFF】

機関停止するには先に F11 が OFF になっている事を確認してから F1 を OFF して下さい。

* F11 が ON のまま【F1=OFF】しますと乗換 SW 操作モードに入りエンジンが停止しません

F6 でエンジンを軽く空ぶかしさせて乗換 SW 操作モードを解除してから【F1=OFF】でエンジンを停止させてください。

4.2. F4 ATS・ATS 確認

走行中：

【F4=ON】で ATS 警報鳴動、5 秒以内に【F4=OFF】で ATS 確認操作とし、警報音が ATS 確認音に変わります。停車後数秒で自動復帰して ATS 確認音が鳴りやみます。

* ATS 確認音は「確認操作後」にスロットルを 230 以上に上げれば強制解除できます。

* 5 秒以内の確認操作に失敗した場合は ATS 警報音持続のまま非常ブレーキが動作し、強制的に減速を開始し強制停車後

数秒後に警報停止します。

*** ATS の動作(F4)、または F5 での非常ブレーキ動作による強制停車の復帰手順**

強制減速開始後はスロットルを 0 まで戻す必要はありません。**復帰操作は停車後**に行います

- ① 当該ファンクションを OFF にします
- ② 「強制停車後」にスロットルを 0 に戻すと復帰します。

* 強制減速中はスロットルを 0 まで戻すのは避けて**停車するまでそのまま**にしておいて下さい
(新たなスロットル指令となるようで、停車後に列車が少し動くなど誤動作をすることがあります)

停車中：

【F4=ON→OFF】で ATS 投入音

4.3. F11 Shift (停車時)

F11 を ON することにより【予熱始動モード/乗換スイッチモード/機関機能試験モード】が使用可能となります。

機関予熱：F1 参照

機関機能試験：停車時の空ぶかしに使用。【F11 + F6】で機能試験(空ぶかし)

【F6=ON】を保持するとフルスロットル持続。【F6=OFF】に戻して復位

乗換スイッチモード：【F11(Shift)=ON】では前進後進切換時（エンド交換）に実車同様に乗換スイッチ操作をします。これは実車では常に自分の乗り込む運転台でエンジンが制御できるように折り返し駅等において制御機能を運転台間で移動させる操作で、**乗換スイッチ操作を失念すると前進後進切換時にエンジンが停止してしまいます。**

* 折り返し駅での車掌スイッチの切換手順と似ていますね。（こちらは切換手順を失敗するとドアが閉まってしまいます）

乗換スイッチ操作による前進後進切換手順（エンド交換手順）：

- ①【F11(Shift)=ON】の時（停車時）【F1 を一旦 OFF してから再度 ON して下さい(切換 SW 音が出ます)

* 以上の操作でエンジンがフリーになり、乗換 SW を操作したものとみなします。

注:この状態で列車は起動できません。起動させる場合は一度 F6=ON→OFF で軽くエンジンを空ぶかしさせて乗換 SW を解除させます。

- 1.エンジンが停止していないのを確認してから反対側の運転台まで歩いて行き乗り込む（想像）
- 2.反対側運転台に乗り込みました（想像）ここから発車準備です。
- ②前進後進切換を行ってください。（切換 SW 音と共に ATS 投入音が鳴動します）
*この段階では便宜上前後切換は何回でも出来るようにしております。
- ③最後に F6=ON→OFF でエンジンを乗換 SW を解除する為に F6 で軽く空ぶかしをしてエンド交換完了です。

4.4. F18 強制閉扉

F18 を ON,OFF するタイミングで発車ベルを省略または短縮したり手笛を省略する為に使います。

5. 注意事項・その他

各操作はしっかりと間をおきながらから行ってください

F12,F15,F16 等のドア開閉音操作は走行中に ON にしておけば停止と同時にドア開き音が出ます。

ドア開き停車中ではスロトルを上げてても起動しないようになっています。

ドア開き停車中に予めスロトルを上げておけばドア閉め後に自動的に起動を開始します。

CV48 を 0 または 1 に設定することでサウンド仕様を変更できます。

CV48=0 原型仕様、

(ドア開閉時のチャイム無し、F15=手笛に変更)

CV48=1 ワンマン化改造仕様

(ATS-P 投入音の追加、ドア開閉時のチャイムの追加、F15=乗降促進案内音に変更)

6. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

・MB3110A

・栃木総合車両所(快速いでゆ)

OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



以上